

第3回 日本ホルンコンクール 要項

主催 日本ホルン協会 <http://jhs.horn.jp/>

協力 国立音楽大学

会場 国立音楽大学 新1号館オーケストラスタジオ 講堂小ホール

■開催日および会場

第1予選 2016年8月30日(火)・31日(水)

両日とも10:00より

※公式伴奏者を希望した参加者の第1予選の伴奏合わせは、第1予選で演奏する前日と致します。詳細は個別に連絡致します。

第2予選リハーサル 2016年9月1日(木)

第2予選 2016年9月2日(金) 10:00より

本選 2016年9月4日(日) 15:00より

■会場へのアクセス

西武拝島線・多摩都市モノレール 玉川上水駅下車。

西武線の改札を出たら左へ。モノレールの改札を出たら右へ。

西武線線路沿い徒歩8分。

<http://www.kunitachi.ac.jp/access/>

■参加資格

国籍不問。2016年9月4日時点の年齢が満40歳未満の者(1976年9月5日以降に出生の者)

■参加料

一般 30,000円 日本ホルン協会員 25,000円

■公式伴奏者料

公式伴奏者料 10,000円(希望者のみ。この金額は第1予選のみの料金であり、第2予選以降も公式伴奏を希望する方はその都度10,000円をお支払い頂きます)

■参加料・公式伴奏者料の支払い

◆参加料および公式伴奏者料は参加者の名義で、下記の振込先口座に振り込んでください。その際、名義の後に「ホルンコンクール」と併記してください(例 ツノブエ タロウ ホルンコンクール)。

◆窓口での払込証もしくはATMでの振込明細書のいずれかをもって参加料領収証に代えます。参加料・公式伴奏者料はいかなる理由があっても返却しません。

【振込先口座】

三菱東京 UFJ 銀行 江戸川橋支店 (普通) 0033229
名義 ニホンホルンキョウカイ イトウテルミチ

■ 申込手続き

所定の申込用紙（コンクール要項に付属のものか、当協会ホームページ <http://jhs.horn.jp/> からダウンロード）に必要事項を記入し、写真 1 枚（縦 4cm×横 3cm・上半身正面・6 ヶ月以内に撮影したもの）と、参加料支払済の確認として窓口での払込証もしくは ATM での振込明細書のいずれかのコピーを申込用紙裏面に貼り、下記あてに送付して下さい。なお、配達事故防止のため、配達記録の残る方法や配達状況の確認できる手段（簡易書留・配達記録・エクスパックなど）を利用してください。

〒112-0013

東京都文京区音羽 1-20-14 MBS 音羽ビル 5F

プロ アルテ ムジケ内

日本ホルン協会 ホルンコンクール係

電話：03-3943-6677

■ 申込に関する注意

- ◆参加者は、申し込み用紙の選択曲目に印をつけて提出してください。提出後は変更できません。
- ◆伴奏者を明記してください。伴奏者を途中でやむを得ない事情により変更する場合は直ちに事務局へ連絡してください。
- ◆出身学校名、在学学校名は正式名を記入して下さい。
- ◆記入事項に不備のある場合、申込を受け付けないことがあるので注意してください。

■ 受付期間

2016 年 5 月 6 日（金）から 7 月 15 日（金）まで必着とし、先着 150 名で締め切ります。

■ 日本ホルン協会入会に伴う特典

コンクールと同時に日本ホルン協会へ入会すると、今年度の年会費を全額免除とし、本コンクールの参加費も会員料金となりますので、非会員の方は本コンクールを機に日本ホルン協会に入会されることをお勧めいたします。今回入会される方は、会費の口座振替依頼書に必要事項を記入し、会費引き落としに使用する口座の銀行印を押印のうえ、必ずコンクール申込用紙と一緒に返送してください。

本コンクールと同時に入会される方は、参加費は 30,000 円ではなく 25,000 円を納入してください。

口座振替依頼書が同時に返送されない場合、会員登録手続きが完了致しませんのでご注意ください。

尚、年会費は、一般 6,000 円、学生 4,000 円となり、来年 4 月から会費を引き落としさせていただきます。

来年度も引き続き学生の方は当協会事務局までご連絡ください。連絡なき場合、一般会費での引き落としとなります。

■ 予選

- ◆ 2 回にわたる予選（公開）を行い、本選出場者を決定します。
- ◆ 予選参加のための旅費その他は一切参加者の負担とします。
- ◆ 演奏順は抽選により当協会が決定します（伴奏者の都合などによる希望は受け付けません）。
- ◆ 審査にあたり、時間の都合などにより演奏を途中で打ち切る場合があります。
- ◆ 第 2 予選出場者には、9 月 1 日（木）に、Brahms / Horn Trio のリハーサルをしていただきます。
- ◆ 第 2 予選の Brahms / Horn Trio の共演者は、当協会が依頼し費用を負担します。
- ◆ 第 1 予選はブラインド審査、第 2 予選はオープン審査とします。

■ 本選

- ◆ 公開の演奏によって審査を行い、順位を決定、表彰規定による賞を贈ります。
- ◆ 本選参加のための旅費その他は一切参加者の負担とします。
- ◆ 演奏順は抽選などにより当協会が決定します。
- ◆ 本選はオープン審査とします。
- ◆ 採点方法および入賞・入選者の選出は別に定める「日本ホルンコンクール規約」によります。

■ 参加に際して

- ◆ 出場者は事務局発行の参加証を持参し、指定の日時に会場で受け付けを済ませ、控室に入り係員の指示に従ってください。遅刻の場合は棄権とみなすことがあります。尚、参加証は申し込み受け付け後に発行します。
- ◆ 伴奏者は参加者自身が委嘱し、同伴してください。なお、前述のとおり、遠方からの受験などにより、伴奏者を用意することが困難な方のために、伴奏者を有料でご紹介する準備がございます。
- ◆ やむを得ず棄権する場合は速やかに日本ホルン協会事務局、またはコンクール開催中は会場内事務局へ連絡してください。

■表彰

- ◆予選を通過し、本選に参加した者には賞状を贈ります。
- ◆本選において第1位、第2位、第3位を得た入賞者には賞金を贈ります。
【第1位】70万円 / 【第2位】30万円 / 【第3位】10万円
- ◆予選の通過者、および本選の受賞者の氏名は、日本ホルン協会ホームページで公表します。

■受賞者発表演奏会

第1位受賞者は、日本ホルン協会主催の演奏会に出演していただきます。

■審査員（敬称略）

Young-Yul Kim (Professor at College of Music, Seoul National University)

Yi Man (Professor at Central Conservatory of Music in Beijing)

中島 大之（国立音楽大学教授）

樋口 哲生（昭和音楽大学教授）

日高 剛（東京藝術大学准教授）

丸山 勉（武蔵野音楽大学准教授）

水野 信行（東京音楽大学教授）

■課題曲 ※曲の末尾にあるカッコ内は版の指定です

（第1予選）

Luigi Cherubini / SONATA No.2

(International Music Company, or Musikverlag Hans Sikorski※)

ケルビーニ ソナタ 第2番

(インターナショナル版・又はシコルスキー版※指定)

* 8小節目から76小節目の1拍目まで演奏してください。

(※下線部分について、2016年4月24日に改定いたしました。2つの

版、どちらでの演奏でも可とさせていただきます)

（第2予選）

下記の課題曲を(A)(B)の順で演奏してください。その後、(C)の中から1曲を選択し演奏してください。(B)については、当協会にて用意する共演者との演奏となります。

(A) Eric Ewazen / A new work commissioned by the JHS (with Piano)

イウエイゼン作曲 日本ホルン協会の委嘱作品（ピアノ伴奏あり）

(B) Johannes Brahms / Horn Trio op.40 2nd movement(without da capo)

ブラームス ホルン三重奏曲 作品 40 第 2 楽章

* ダカーポなしで演奏してください

(C) ①Jean-Michel Defaye / ALPHA

デュファイエ / アルファ

②Robert Planel / LÉGENDE

プラネル / レジェンド

③Paul Dukas / VILLANELLE

デュカ / ヴィラネル

④Eugène Bozza / SUR LES CIMES

ボザ / 頂上にて

(本選)

短い無伴奏小品 (楽譜は第 2 予選結果発表時に配付します。)

Richard Strauss / Horn Concerto No.2 all Movements (memory)

リヒャルト・シュトラウス / ホルン協奏曲第 2 番全曲 (暗譜)

■注意事項

- ◆使用楽器について、特に制限は設けません。
- ◆予選・本選ともに、伴奏はピアノに限ります。
- ◆第 1 予選は、指定された出版社の版での演奏とします。
- ◆Ewazen 氏の委嘱作品の楽譜は、申し込み受付次第、申込者に順次郵送で配布いたします。参加料の中に楽譜代も含まれます。店頭でも発売予定です。
- ◆本選のリヒャルト・シュトラウス / ホルン協奏曲第 2 番以外の曲は、暗譜する必要はありません。
- ◆第 2 予選の選択曲は申し込み時からの変更はできません。
- ◆全ての審査において、コピー譜の使用は認めません。使用が発覚した場合受験を取り消す場合がありますのでご注意ください。
- ◆予選・本選ともに公開審査ですが、未就学児の入場はご遠慮ください。

■お問い合わせ先

日本ホルン協会 ホルンコンクール係 (プロ アルテ ムジケ内)

電話 : 03-3943-6677

ホームページ <http://jhs.horn.jp/> にもお問い合わせフォームがございます。

■公式伴奏者および共演者（敬称略）

公式伴奏者：神永 睦子・野代 奈緒・松岡 美絵・室伏 琴音

Brahms / Horn Trio 共演：Vn. 永峰 高志（国立音楽大学教授）

Pf. 三木 香代（国立音楽大学教授）

日本ホルンコンクール 規約

本コンクールは、卓越した技術・音楽性のみならず、グローバルな演奏スタイルやアンサンブル能力をも問うホルンコンクールである。現場で培われた経験や学術的な研究をもとに、選曲から審査員の選考、審査方法まで独自の視点で検討し、真の素晴らしいホルン奏者の発掘育成を行う。また、本コンクールは、現代を代表する作曲家に課題曲の作曲を委嘱し、国際的にも認知されるコンクールを目指す。

第一章 総則

第1条 本コンクールは「日本ホルンコンクール」と称し、創設以来の通算回数を冠する。

第2条 本コンクールは日本ホルン協会主催とする。

第二章 事業

第3条 本コンクールは、優秀な新人の発掘につとめ、これを主催者の演奏会によって広く世に紹介する。

第4条 本コンクールは原則として3ヶ年おきに審査を行う。

第5条 本コンクールに参加し、審査のうえ、優秀な成績を修めたものは、これを表彰する。

第6条 コンクールの全期間における参加者の演奏の録音、録画、放送、頒布に関する権利は、すべて主催者に帰属する。

第三章 審査員

第7条 本コンクール審査員は、開催ごとに主催者が原案を作成し、常任理事会の承認を得て委嘱する。

第四章 課題曲

第8条 予選、本選の課題曲は、日本ホルン協会常任理事会が決定する。

第五章 応募者

第9条 応募者の国籍は問わない。

第10条 応募者は、満40歳未満（当該年本選日現在）を資格とする。

第11条 本コンクールに入賞した者が再び応募する場合は、第1予選を免除する。また、1位入賞者が再び応募することを認めない。

第12条 応募者は本コンクール要項に従わなければならない。違反した場合は失格とみなす。

第六章 審査

(予選)

第13条 審査は原則として第1・第2予選、本選の3回にわたって行う。

第14条 予選の演奏順序は抽選などにより主催者が定める。

第15条 審査は点数制とする。

第16条 点数は100点満点とし、小数点以下は認めない。

第17条 採点は各予選とも、独立して扱う。

第18条 出席審査員は予選に出席した参加者の演奏をもれなく聴き、参加者の演奏成績に従って点数を所定の用紙に記入し、署名後、事務局に提出する。

第19条 採点にあたっては、全審査員の採点結果のうち最高・最低点（各1人ずつ）をカットしたものを合計する。

第20条 各予選通過者及び本選出場者は高得点順とし、人数については日程や会場及び演奏所要時間などを総合的に考慮し、審査員、主催者の二者で協議のうえ適正な人数を選出する。

(本選)

第21条 本選の審査は参加者の公開演奏によって行う。参加者の演奏順序は抽選などにより主催者が定める。

第22条 審査は点数制とする。

第23条 点数は100点満点とし、小数点以下は認めない。

第24条 採点にあたっては、全審査員の採点結果のうち最高・最低点（各1人ずつ）をカットした合計点数に、第2予選で獲得した合計点数の60%を加算する。

第25条 順位は、上記の点数を合算した点数の高得点者順とし、入賞者は原則として3人以内とする。

第26条 審査会で討議後、第1位、第2位、第3位の順位を決定する。同点は同位とする。ただし、演奏レベルなどを勘案して必ずしも原則通りの順位を選出しなくてもよい。

第七章 表彰

第27条 参加者のうち、第2予選を通過し、本選に出場した参加者を入選者とする。

第28条 入選者のうち、本選審査によって、原則として第1位、第2位、第3位を決定し、入賞者とする。

第29条 入賞者に対して賞状並びに賞金を贈る。入選者には賞状を贈る。

第30条 本コンクールは外部からの寄託賞を受けることができる。ただし、その受託に関しては主催者の常任理事会の承認を必要とする。